

日本タイ学会(旧タイ・セミナー)第三回研究大会

プログラム

開催日: 2001年7月14日(土)・15日(日)
会場: 熱海市 岡本ホテル

7月14日(土)

テーマ発表1 宗教—多様性の現在—

コーディネーター・司会: 馬場雄司(三重県立看護大学)

13:00~13:30 タンマカーイ寺の救済観—瞑想修行と教団イベントによる自己形成—
矢野秀武(日本学術振興会特別研究員)

13:30~14:00 山地少数民族から見た民族・宗教・国家—ラフにおけるキリスト教と仏教の影響を中心に—
片岡 樹(九州大学大学院)

14:15~14:45 華人民衆教団・徳教の多国籍化とネットワーキング
吉原和男(慶應義塾大学)

15:45~15:15 コメント—南アジアの視点から—
杉本良男(国立民族学博物館)

15:30~16:20 総合討論

(16:30~17:30 理事会)

18:00~20:00 懇親会

7月15日(日)

テーマ発表2 日本におけるタイの教育研究—現状と課題—

コーディネーター・司会: 平田利文(大分大学)

9:00~9:30 タイ教育研究の動向
村田翼夫(筑波大学)

9:30~10:00 国民統合のための教育からグローバリゼーション時代の教育へ
—1999年国家教育法をめぐって—
森下稔(東京商船大学)

10:15~10:45 少数民族教育の展開に見る国民教育の特質と課題
—華人およびマレー系ムスリムを事例として—
鈴木康郎(筑波大学)

10:45~11:15 山地民政策における国民教育の役割
石井香世子(慶應義塾大学大学院)

11:30~12:20 総合討論

(昼食)

自由論題発表

司会: 吉野 晃(東京学芸大学)

13:30~14:00 ユアン・オッパヨップと1992年改正国籍法(第2版)による無国籍者問題解決の一事例
岸本ゆかり(茨城大学大学院修了)

14:00~14:30 「タイ式医療」構築過程におけるマッサージの実践—北タイ農村の事例から—
飯田淳子(総合研究大学院大学大学院)

14:45~15:45 総 会